

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	造園ガーデン材料論 [Garden Landscaping Materials]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	
科目コード	710114	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	林 典生				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP3(5)	
授業概要	<p>幅広い教養と専門性を持ち、様々な人々の立場や文化を理解した上で、柔軟な思考に基づいて建設的な意見および行動により、一緒に問題解決を行える人材を育てるために以下の内容で授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 造園ガーデン分野で使用される植物は、様々な場所で活用されることで様々な機能を発揮することが出来る。本講義では、植物の種類や生理生態、具体的なデザイン・管理上の要点などについて修得する。 2. 芝草(turf)の造成と管理について理解する。同時に、イネ科植物である芝草の種類、生育分布、生育特性、造成・管理方法などについて植物学的な視点から理解し、芝草の役割や今後の造成管理に関する視点を養う。 3. 造園空間を創生するための植物以外の材料、すなわち造園施設的设计・施工に関わる材料について、その種類と特徴を理解することで、石材、木材などの産地は世界に広がっていることを理解する。 <p>【知識・理解の活用、幅広い教養】</p>						
関連する科目	履修前に樹木学、花卉園芸総論、花卉園芸各論、蔬菜園芸総論、蔬菜園芸各論、果樹園芸総論、果樹園芸各論を履修するのが望ましい						
授業の進め方と方法	授業開始前に毎回のレポートを提出した後、授業開始後10分間は授業開始前の小テストを実施する。その後授業開始前の小テスト、毎回のレポートならびに前回の授業終了後の小テストの解説を授業内容と関連付けて行う。授業を実施し、授業終了10分前に次回提出するレポート課題を説明し、授業終了後の小テストを実施する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造園ガーデニング材料の活用例紹介(実例をスライド等で紹介) 実際の使用事例を用いて造園ガーデニングで使われる植物材料、土壌資材等の植物以外の材料紹介を行う。 2. 一年生草花(パンジー・ネモフィラ等) 一二年草花の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 3. 球根(チューリップ・ランキュラス等) 球根類の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 4. 多年生草花(ギボウシ・クリスマスローズ等) 多年草の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 5. 多年生草花(ヒューゲラ・シバザクラ等) 前回到引き続き、多年生草花の栽培・利活用方法について説明する。 6. ハーブ(ローズマリー・カモミール等) ハーブと呼ばれる植物の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 6. 野菜(トマト・ジャガイモ等)エディブルガーデンとの関連も踏まえて 家庭菜園で活用される野菜の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 7. 果樹(キイチゴ・グランベリー等) ガーデニングで活用される果樹の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 8. 観葉植物(ゴムノキ・アナス等) 観葉植物と呼ばれる植物の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 9. その他の植物材料(多肉植物・ラン・山野草等) 多肉植物・ラン・山野草と呼ばれる植物の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 10. 庭木・花木(モクレン・サルスベリ・ノダフジ等) 庭木・花木の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 11. 花木・つる植物(ハナミズキ・クチナシ等) 前回到引き続き、花木・つる植物の栽培・利活用方法について説明する。 12. 芝生(ノシバ・コウライシバ・ケンタッキーブルーグラス等)とグランドカバープランツ 芝生・グランドカバープランツと呼ばれる植物の特徴及び栽培・利活用方法について説明する。 13. 植物材料のふりかえり 12回目までの植物材料に関して、特徴及び栽培・利活用方法の振り返りを行う。 14. 木材・竹材について 木材・竹材の特徴及び利活用方法について説明する。 15. 石材・ブロック・タイル・レンガ・アスファルト・コンクリート舗装材料・高分子素材等について 上記の植物以外の材料の特徴及び利活用方法について説明する。 						
授業の到達目標	ガーデニングショップに相談に来られたお客様に的確なアドバイスができるくらい様々な材料が持つ特性を生かして、造園ガーデン分野における設計・施工・管理及び利活用を行うことが出来る。						
授業時間外の学修	毎回の授業終了時に、事前に課題を提出するので(キーワードを2個提示)それを調べて、まとめたレポートを作成すること(目安時間は1時間以内)。また、授業終了後に授業内容に関する課題を提出するので(テーマを1つ設定)、それを調査し考えたことをまとめたレポートを作成する(目安時間は1時間以内)。						
課題に対するフィードバック	毎回の小テストおよびレポートは各授業中に解説を実施するとともに、テストはテスト終了後に解説を実施する				評価方法	授業開始前後の小テスト 15回×2点 計30点 毎回のレポート 15回×3点 計 45点 テスト 計25点 合計100点で成績評価を行う なお、遅刻・早退や激しい私語等授業態度が悪い場合は本人に伝えた上で減点する。	
テキスト	造園ガーデン材料論テキスト(担当教員が毎回作成し、配布する)						
参考書	造園の施設とたてもの - 材料・施工 - 小林章・山口剛史・近藤勇一著 コロナ社 2003 NHK趣味の園芸 よくわかる栽培12か月芝生 浅野義人・加藤正広著 日本放送協会出版会 2005 NHK趣味の園芸 新版・園芸相談①～⑩ 日本放送協会出版会 2008～2011 NHK趣味の園芸 新園芸相談①～⑩ 日本放送協会出版会 1991～1992						
備考							